

今週の日曜版は合併号!!
8月20日は休みます。

平和を訴え市民ウォーク

平和は武器では守れない

「憲法9条を守る日田の会」(代表・橋本雅文氏)は、広島に原子爆弾が落とされた8月6日、平和を訴える市民ウォークを行いました。

78年前に広島、長崎で被爆し、8634人。原爆死没者は合わせこの1年で新たに亡くなった人は、53万4834人となりました。



▲「戦争はイヤだと思ふ人は誰でも参加を」と呼びかけ憲法9条を守る日田の会(8月6日、日田駅前通り)

憲法9条を守る日田の会代表の橋本雅文さんは、大分合同新聞のコラム東西南北に「5月に広島であったG7(先進7カ国首脳会議)で、岸田文雄首相は実相を各国首脳に伝えた胸を張ったが、どの程度理解されたか疑問だ。被爆地での開催だけに期待した。だが、そこにあつたのは『抑止力』としての核兵器の役割再確認だった。原爆がもたらすもの

は地獄の業火である。非人道性の『絶対悪』のはずが、いまだに核が『必要悪』として戦争の文脈で語られる」とあつたことを紹介。橋本さんは「変な動きが岸田政権にある。私たちは、ずれずにまっすぐ平和を訴える。核兵器禁止条約を日本に批准させよう」と、パトリア日田前の広場に集まった参加者にあいさつしました。

6月議会 一般質問 高齢者が交通手段に困る

運転免許を返し、自由に外出できな

日隈市議は6月16日、病院や買い物、図書館などの公共施設に行くのに困っていると相談を受け、「日田市地域公共交通計画」の見直しを求めました。

大山町の瀬古に住む70代の女性は、渡辺医院前のバス停までタクシーを使い、日田バス杖立線で市内の病院に行きます。「病院代もかかるので交通費を安くするためにかつては、天瀬町の丸山に住む80代の男性は、家族に説得されて免許を返し、病院や買い物に行くのに家族の助けが必要です。自分で車を運転した頃のように、自由に外出できなくなった」と話します。



刃連町に住む80代の女性、3年前に免許を返し、好きな本を借りに淡窓図書館まで歩いていきます。「最近、歩くのが負担になつて

いる」と話します。日隈市議は「3人も公共交通計画で、公共交通の空白地域になつていない。どう考えているか」と質問。企画振興部長は「市営のデマンドバス、デマンドタクシーの運行エリア外で、バス停や鉄道駅から1・5km以上離れた地域が公共交通の空白地域としている。可能な限り公共交通の空白地域解消に努める」と答えました。市の計画に、運転免許を返し、自由に外出できない高齢者への支援がないことがはつきりしました。椋野美智子市長は「運転免許を返納した高齢者の移動支援対策を検討する」としており、日隈市議は「9月議会で質問する」と話します。